

延長保育・一時保育の実践研究 ―保育所の保育内容に関する調査研究報告書―

●序●

本報告書は、厚生労働省の補助事業として、日本保育協会が実施した「保育所の保育内容に関する調査研究」の結果をまとめたものです。

この事業は、保育内容をより高めるために保育所が行っている保育活動の実践について調査研究を実施し、今後の保育所保育の充実と向上に資することを目的とするものです。

本年度の研究テーマは、「延長保育・一時保育の研究」で、モデル的な保育所を9か園選定し、実践研究をしていただきました。

本報告書を、保育所における延長保育や一時保育を考えるヒントに、また収録されている実践例を保育現場で参考としてお役立てくださるならば幸甚に存じます。

このたびの調査研究の実施に当たりましては、網野武博先生（上智大学）、庄司順一先生（青山学院大学）、高橋保子先生（村山中藤保育園）、門倉文子先生（なでしこ保育園）、菅原恵子先生（千代田保育園）、森田倫代先生（きらら保育園）の研究スタッフにご指導いただいたこと、また研究実施園の皆様にご尽力いただいたことに対し、心から深く感謝の意を表する次第であります。

平成17年3月

社会福祉法人 日本保育協会

理事長 佐々木 典夫